



施策 地域活動

目指す
状態

市民の主体的かつ自律的な活動と様々な主体間の連携が促進され、
地域における課題を地域が主体となって解決していく地域社会をつくれます。

1 施策の現状と課題

- 本市では、町会・自治会・区のほか、市内21地区のコミュニティエリア別に、ふるさと協議会が運営されています。こうした地域住民主体の活動により地域活動が支えられてきましたが、町会等の加入率は低下傾向にあり、コミュニティ意識の希薄化や担い手不足が問題となっています。
- 町会等の活動の持続可能性を高めるため、地域活動や運営を支援しながら、町会等と互いに協力して地域づくりを進めることが求められます。

2 施策の現状と課題

- 市民ニーズや地域課題が多様化・複雑化する一方、公共領域の課題を自主的に解決しようとする市民の関心は高まっています。
- 本市では、市民活動のプラットフォームとして柏駅前に「パレット柏」を設置し、市民活動の交流拠点としています。
- また、「市民との協働に関する指針」に基づき、市民と行政が対等な立場で協働によるまちづくりを進めており、市民公益活動団体・登録数が増加傾向にあることから、協働の考え方をさらに広め、推進体制を強化することが必要です。

●主な関連部門計画 ●市民との協働に関する指針



施策の方向性 町会等の活動の持続可能性を高める

地域コミュニティの活性化に向け、町会等の地域組織の主体的運営を支援しながら、地域課題解決のための方策を進めます。

また、地域コミュニティ活動の拠点として、近隣センターの維持・整備並びに適正な配置に取り組みます。

町会等に対して、専門的な知識を有する市民公益活動団体や市民協働支援員、地域づくりコーディネーターを活用し、運営体制の見直しや地域課題の解決を図る人材の育成を支援します。

施策の方向性 市民参加と協働を推進する

市民ニーズに沿ったまちづくりを推進するため、政策や計画の立案から実施・評価まで各段階における自発的な市民参加を促進します。

市民が主体となったまちづくりに向けて、様々な主体が自発的に活動できる環境を整えるとともに、情報発信や連携などにより協働の推進体制を強化します。